

宮城県日中友好協会

〒981-0931 仙台市青葉区北山 2-5-1-103

TEL・FAX 022-274-3811

E-メール jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp

ホームページ http://www16.plala.or.jp/miyagikenn/



10月、(神無月、かなづき)。神様が出雲に出張中なので、今月は大人しくしていよう……。

1. 10月の行事

日 時	行 事 名	場 所
10月19日 (土)	①魯迅先生逝世83周年碑前祭 10:30~	①仙台市博物館魯迅之碑前
	②留学生昼食交流会 12:00~ 会費3000円	②銀座ライオン一番町店

※ 各地区協会・委員会の行事報告等あれば掲載いたしますので、ぜひFax, メール等でお知らせください。

2. 宮城県日中友好協会定期総会と懇親会について



8月31日(土) 13:30~仙台市市民活動サポートセンターセミナーホールに於いて定期総会が開催されました。

今年、中華人民共和国成立70周年の記念すべき年なので、殷達奇新潟総領事館副総領事より「中華人民共和国成立70周年を記念して」という演題で記念講演をいただき、その後、53名の参加の下定期総会になりました。総会では開会宣言後、物故者に対し黙祷を捧げ、佐々木謙会長の挨拶後、来賓の殷達奇新潟総領事館副総領事、尹斯袁中国学友会会長、若生裕俊富谷市長のご三方より祝辞をいただき、鈴木悟大河原日中友好協会事務局長を議長に選出し議事に入りました。議事では2018年度事業活動報告、決算報告、会計監査報告、収支過不足金の処理、2019年度事業活動報告、予算案、

役員選出が水戸理事長、高橋事務局長から各々報告、提案があり参加者一同の拍手で承認されました。

定期総会終了後、場所を中国料理「長城」に場所を移し懇親会に入りました。懇親会には41名の参加があり、長城自慢の料理を囲みながら殷達奇副総領事、趙令君領事アタシェ、尹斯遠会長、張麗娜学術部長、沈溟渭会計幹事などの来賓と親しく懇談し、懇親を深めました。



※尹斯袁中国学友会会長の挨拶

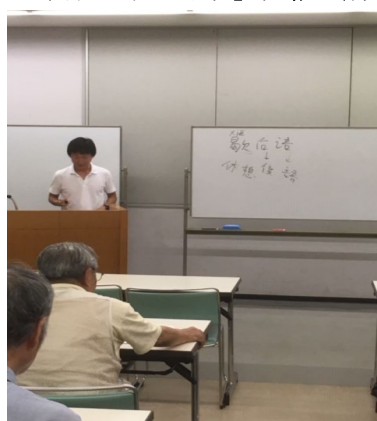


※参加者一同記念撮影



※懇親会での記念撮影

3. 中国語の洒落言葉(歇后语)を日本語で楽しもう」開催(青年委員会)



9月8日、仙台国際センター研修室にて「中国語の洒落言葉(歇后语)を日本語で楽しもう」を開催しました。講師は東北大学博士課程在学中の留学生、羅漢さん。佐々木謙会長の挨拶から始まった講座には一般、日中会員計12名の参加がありました。「八仙过海」では、八仙の解説があったり、「泥菩薩过河」などでは、日常生活の中で、どのように使うか例文を考えたりしました。似たような諺でも日中間では微妙な意味の違いがあり、辞書を引くだけでは分からないニュアンスを学ぶことができました。参加者から「楽しかった。」という感想をい

ただいたので、12/1(日)10:00～11:30、仙台国際センター交流コーナー研修室Bにて、2回目を開催する予定です。受講料会員700円、一般1000円。多くの皆様の参加をお待ちしております。参加希望者は宮城県日中事務局まで事前申し込みをお願いいたします。

4. 東日本実務者会議について

会議は9月8・9日の日程で埼玉県大宮市で開催され、13都道府県から32名が参加しました。会議は各県協会に対する「事前アンケート」に基づき討論が行われたこともあり、白熱した中身の濃い内容となりました。司会者が発言時間を制約するほど活発な意見交換の会議でした。討論の内容を一部紹介すると、千葉：宮城県の植林事業は生態保護林が中心だったが、千葉は「クルミ・ナシ」など経済樹木植林だった。神奈川県：協会への信頼と“寄り添う心”を持つ会員が「交流基金」として300万円を寄付してくれた。山形：地区協会が自治体の「国際交流協会」に吸収されつつある。北海道：留萌市一宮口市港湾都市友好条約締結、夕張市日中友好協会会員2名で復活、三菱マテリアル慰霊碑建立予定。宮城県：2017年、15年間の植林事業完了。4月、「四川省成都（蜀の国）・パンダと世界遺産を訪ねて」の訪中団派遣。静岡県・埼玉県・秋田県：会員の減少等の意見交換がなされました。その他、①本部の専従体制は現在3名ですが、将来は5～6名体制にしたい。②組織・財政問題を検討する専門委員会を立ち上げる等でしたが、何れの協会も会員の高齢化、会員の減少対策が喫緊の課題でした。宮城県日中からは蕪武副会長、高橋事務局長、武智理事が参加しました。



5. せんだい地球フェスタ2019について



9月23日（月、秋分の日）10:00～16:00まで仙台国際センター会議棟で「せんだい地球フェスタ2019」が開催されました。台風の影響で来場者の足に影響するのではないかと危惧していましたが7500名の来場者がありました。いろいろな国の友好団体が趣向を凝らしたブースは来場者でにぎわっていましたが、その中で、宮城県日中は4月に実施した「四川省成都（蜀の国）・パンダと世界遺産を訪ねて」訪中写真展を当協会の蟹澤聰史理事の協力で実施いたしました。

また、仙台市日中も新潟総領事館（パンダのぬいぐるみと中国の紹介DVDを寄付される）・宮城華僑華人女性联谊会（裘哲一会長・菊地紅子氏・高橋もも氏・程艶春氏から中国の小物を寄付される）のご協力をいただきまして、8年目になる東日本大震災被災者義援金募金を実施し、多くの来場者から13,475円の浄財を寄付していただきました。ありがとうございました。

